



# news release

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 〒004-8588 札幌市清田区清田一条一丁目2番1号  
[URL] <http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>

2018年4月23日

報道関係各位

北海道の水辺の環境保全を「ジョージア サントスプレミアム」北海道限定デザインが応援

## 「北海道 e-水（イーミズ）プロジェクト」

### 2018年 支援団体決定&キックオフミーティング開催

北海道コカ・コーラボトリング株式会社(本社：札幌市清田区 代表取締役社長：佐々木康行)は、2018年4月27日(金)、本年度の支援団体として採択された8団体が活動内容について発表し情報共有するための「2018年北海道 e-水プロジェクト キックオフミーティング」を下記の通り開催いたしますので、ご案内申し上げます。

「北海道 e-水プロジェクト」は、2009年11月、北海道と当社との間で締結した「環境保全に関するパートナーシップ協定」に基づき、北海道の豊かで美しい「水」を中心とした自然環境を守り次世代へと引き継いでいくことを目的とし、北海道、公益財団法人北海道環境財団、当社の三者協働で取り組むプロジェクトです。当社が販売する「ジョージア サントスプレミアム」北海道限定デザインの売上の一部を(公財)北海道環境財団に寄付し、道内各地域で水辺の環境保全活動に取り組む団体および流域ネットワークの活動を支援するもので、2018年で9回目を迎えます。



北海道e-水プロジェクト

#### ■2018年 北海道e-水プロジェクト キックオフミーティングについて

日時：2018年4月27日(金) 14:20~17:30

場所：北海道コカ・コーラボトリング(株)本社2階会議室(札幌市清田区清田1条1丁目2-1)

参加者：助成対象となった8団体の代表者(詳細は次頁:別表1)

主催：北海道、(公財)北海道環境財団、北海道コカ・コーラボトリング(株)

#### 【2018年 支援団体】(五十音順、敬称略、詳細は次頁:別表1)

- |  |                         |
|--|-------------------------|
| ①阿寒湖のマリモ保全推進委員会 (釧路市)                          | ⑥北海道大学総合博物館             |
| ②石狩川流域 湿地・水辺・海岸ネットワーク (札幌市)                    | 昆虫ボランティア 水生昆虫グループ (札幌市) |
| ③一般社団法人天売島おらが島活性化会議 (天売島)                      | ⑦北海道七飯高等学校 科学部 (七飯町)    |
| ④羽幌みんなでつくる自然空間協議会 (羽幌町)                        | ⑧宮島沼の会 (美唄市)            |
| ⑤北海道北見北斗高等学校サイエンスクラブ<br>グローバルアクションプロジェクト (北見市) |                         |

#### 北海道の環境を守る あなたの1本



「ジョージア サントスプレミアム」は1993年の発売以来、多くのお客様に親しまれているロングセラー商品です。原材料には北海道産の乳・砂糖を使用し、北海道の地産地消を応援するとともに、売上の一部を公益財団法人北海道環境財団へ寄付し、北海道の自然環境保全に継続的に取り組んでおります。

【別表1】

2018年 北海道e-水プロジェクト 助成団体（五十音順、敬称略）

	団体名／事業名	活動地域	事業概要
①	阿寒湖のマリモ保全推進委員会	阿寒湖	カナディアンカヌー2艘を連結した調査船を利用した地域の子どもたちによるマリモ調査を行う。調査結果はホームページで発信し、報告書も作成する。
	地域一体となったマリモ群生地の復元再生活動		
②	石狩川流域 湿地・水辺・海岸ネットワーク (流域ネットワーク)	石狩川中下流域 (空知・石狩)	湿地のCEPAプログラムを現場で行う活動。未保全湿地の調査、リスト化、探索会の開催、普及啓発のための映像製作等の活動、湿地の利活用ワークショップ、活動団体紹介や専門家の話による湿原カフェの開催など。
	石狩川流域湿地環境啓発事業		
③	一般社団法人天売島おらが島活性化会議	苫前郡羽幌町 天売島	子どもを含む若い世代や島外の人たちに、水資源の循環の重要性を理解してもらうために、水資源に関するセミナー、島外の子どもたちを対象にした間伐体験や炭づくり等の実施、黒崎海岸一斉清掃、SDGsシンポジウムの開催を行う。
	自然環境と野鳥と人が共生するための環境学習事業		
④	羽幌みんなで作る自然空間協議会 (流域ネットワーク)	羽幌ピオトープとその周辺 (福寿川流域)	福寿川流域のピオトープを保全するため、協議会、町民参加、羽幌高校と協働で、樹木・水圏生物・昆虫相の調査を行う。調査結果は取りまとめの上、報告会を行うほか、インターネット上でデータの公開を行う。
	羽幌ピオトープでの生物多様性評価のための調査		
⑤	北海道北見北斗高等学校サイエンスクラブ グローバルアクションプロジェクト	常呂川水系流域 (置戸町、訓子府町、北見市)	常呂川水系に対する住民の関心喚起・意識の向上、河川環境保全に対する意識の向上を目的として、同水系における河川ゴミ調査と水質・底生動物調査、水ミーティング2018の実施。
	グローバルでいこう！水環境保全意識の向上をめざす 「水ミーティング2018」		
⑥	北海道大学総合博物館 昆虫ボランティア 水生昆虫グループ	標本(水生昆虫)が採集された 北海道内の河川全般	北大博物館収蔵庫内の水生昆虫の同定、データベース登録を行う。ホームページ・パンフレットにより、環境資源保全の重要性を発信。一部の標本はミニ展示を行う。昆虫サロンを開催し、活動内容を発表する。
	水生昆虫標本データベース化により河川環境を考える		
⑦	北海道七飯高等学校 科学部	渡島大沼及び その流域河川と周辺湖沼	大沼周辺に生息する特定外来種ウシガエルの捕獲、分布調査、胃の内容物調査等により、繁殖地や繁殖期間、食性などを明らかにし、効果的な拡散防止の取り組みに活かす。e-水の活動期間終了後であるが、大沼研究発表会にて発表も予定
	渡島大沼の特定外来生物であるウシガエルの分布拡大の 防止及び駆除を目的とした生息調査		
⑧	宮島沼の会	宮島沼とその周辺、 石狩浜	子どもたちの組織「マガレンジャー」の活動として、米粉を使用した料理づくり、いしかりUMIBEキッズクラブと海辺の化石探しと標本づくり、宮島沼の水質保全のために葦の刈り取り、葦紙の作成、田んぼの生き物を捕獲し、オリジナル図鑑づくりを行う。
	自然戦隊マガレンジャーの活動支援		

- ・ 対象となる団体：道内の水辺における環境保全事業を行う非営利の団体または流域ネットワーク
- ・ 対象となる事業：道内の水辺（川、海、湖沼など）において環境保全活動を行う非営利の団体（または流域ネットワーク）が行う事業。

＜例＞水質浄化、水辺の清掃活動、環境学習会や研修会、水源の森づくり、在来種の回復や外来種駆除 など

- ・ 対象となる期間：2018年4月1日～2018年11月30日に実施される事業



(昨年度の採択団体活動風景)

当社は、「北の大地とともに」をスローガンに、道産子企業として、北海道の魅力をさらに高める活動、地域課題解決への協力、次世代を担う子どもたちに将来の地球の姿を考える場の提供、安全で安心な地域づくりを応援する取り組みなど、事業活動を通して継続的に推進してまいります。



＜本件に関するお問い合わせ先＞

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 広報・CSR推進部  
担当：小野 TEL 011-888-2091

## ■ 参考 1 活動の源である「ジョージアサントスプレミアム」北海道限定デザイン

- 「ジョージア サントスプレミアム」北海道限定デザインは 1993 年に発売して以来 20 年以上、北海道の多くのお客様に親しまれているコーヒーのロングセラー商品です。原材料には、北海道産の乳・砂糖を使用し、北海道の地産地消を応援しております。
- パッケージデザインは、北海道の代表的な自然風景を採用し、ご愛飲いただいている皆様から北海道の環境を守ることへの気持ちをお預かりするというかたちで、売上の一部を公益財団法人北海道環境財団へ寄付し、それを活用して北海道との連携のもと道内各地域の水辺の環境保全に取り組む団体と協働し、水辺の観察会や清掃活動などに取り組んでいます。
- 2009 年より開始された寄付は 2016 年に累計 1 億円を突破しました。

## ■ 参考 2 北海道 e-水（イーミズ）プロジェクトとは

- 北海道には豊かな水資源とそれを取り巻く美しい自然があります。この北海道の恵まれた水とそれを含む自然環境を道民全体で保全し、未来に引き継いでいくため、道民、事業者、行政の協働のもとで地域における水辺の環境保全活動に取り組む事業が「北海道 e-水プロジェクト」です。
- エコロジーをイメージする「e」と「きれいな水」というイメージを重ね合わせ、「北海道 e-水（イーミズ）プロジェクト」と名付けました。
- 2010 年から始まったこの「北海道 e-水プロジェクト」はこれまで本年度採択団体を含めると 9 年間で延べ 91 の団体を支援（※別図参照）活動の輪は全道一円に広がっています。

## ■ 参考 3 累計寄付金額

2008～2016 年 寄付額実績	101,703,966 円
2017 年 寄付額	8,273,388 円

寄付額累計 **109,977,354 円** 内) 北海道 e-水プロジェクト 85,599,159 円

## ■ 参考 4 「第 19 回 日本水大賞」において審査部会特別賞を受賞 ※2017 年 7 月 11 日(火)表彰式

- 日本水大賞委員会(名誉総裁:秋篠宮殿下、委員長:毛利 衛〈日本科学未来館館長〉)、国土交通省が主催
- 1998 年 6 月、安全な水、きれいな水、おいしい水にあふれる 21 世紀の日本を目指して、水循環の健全化に向けた諸活動を広く顕彰し、活動を支援するために創設
- 国内で水環境における全ての団体、個人の研究活動を対象にした唯一の賞



